

踏み出せ！介護DX!! レポート -IoT/ICTプラットフォーム定着サポート- 医療法人 啓仁会 介護老人保健施設 いとうの杜



介護老人保健施設 いとうの杜



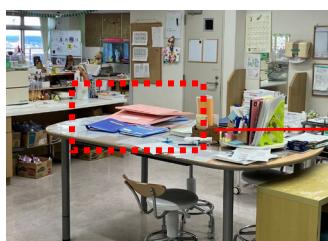
EGAO link. 仕組み



2023年10月 導入前全体会議
約80名のスタッフが参加されました。

◆ベッド上の状態が可視化

これまで、ご利用者がお部屋で過ごされている様子を確認するために、職員が直接お部屋に訪室していましたが、眠りSCANの導入によって手元のスマートフォンやモニターから、ベッド上の状態を確認することができるようになりました。特に夜間帯は、職員の人数が少ない中での対応となるため、訪室のタイミングが掴めることは、ご利用者・職員の両者にとって負担が少なくなります。職員様より、夜間眠っていると思っていた方がデータをみると、眠っていないことが分かったという声もありました。IoT/ICTを活用することは、「職員の目」と「経験値+システムの力」を合わせ、オペレーションの改善や、ケアの質を向上させることに繋げていくことが出来ます。センサーマットの必要性も見直し、ベット周りも整理されることで、快適な住空間の提供にも繋がります。管理者の方と各フロアを回った際、「マットが減ってスッキリしていますね！」とコメントもいただきました。



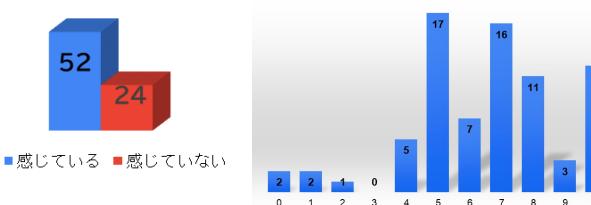
記録ソフトの導入により紙面でのチェック表が不要になったため、収納ケースともお別れすることになりました

◆ペーパーレス化へ

ご利用者のケアプラン、食事、排泄、バイタルチェック表などの様々な記録類が現場にはあります。一部残っている記録類はありますが、日常的な支援内容の記録類は、介護記録ソフト(CARE KARTE)に移行できました。慣れない方は、介護記録ソフトに直接入力をするのではなく、チェック表に記録してから…といったことも見受けられましたが、直接記録ソフトに入力する意識をもっていただくように、実践していただいた結果、ケースファイルを処分することができ、ステーション周りの美化に繋がりました。これから更に介護記録ソフトの仕組みや内容を理解することで、ペーパーレス化が進み、実際に30分記録に要していたが数分に短縮されたとの声もありました！

◆満足度調査の結果

n=76 単位:人



7割の職員が、より慣れることで余裕をつくる可能性を感じています

いとうの杜様は、施設入所、短期入所生活介護、短期入所療養介護、通所リハビリテーション、居宅介護支援サービスの5類型を運営されており、同時並行で進めさせていただきました。

サポート終了後、当社に対する評価とIoT/ICT化に対する満足度調査にご協力をいただきました。その中で、「当社のサポートがなかった場合」を想定して回答いただいたコメントを一部ご紹介いたします。

- ・便利な機能を知らず、操作方法のみの理解で終わっていた
- ・小さな疑問点が、なかなか解決できずに定着まで時間がかかった
- ・不満が高まり、退職者が多かったのではないか
- ・サポートが有ることで、疑問や不明点の解消がその日のうちに出来た
- ・PCが得意なので個人的にはなんどかなった
- ・自分の業務に集中できなかった
- ・残業が増えているのではないかなど

今後のいとうの杜様のご活躍とさらなる進化を応援しております！